



ニュースリリース

2014年10月24日

新日鉄住金エンジニアリング株式会社

フィリピン/レイテ州政府に校舎(Pre-Engineered Steel School)の寄贈について

新日鉄住金エンジニアリング株式会社（代表取締役社長 高橋 誠 本社：東京都品川区 以下、当社）PNS Advanced Steel Technology 社（社長 大木 仁 以下、PNS-ASTech 社）と日鉄住金鋼板株式会社（代表取締役社長 細貝 清司 本社：東京都中央区 以下、日鉄住金鋼板）は、23日レイテ州パロ町内・Palo National High School において、新興国向けに新たに開発した Pre Engineered Structure による校舎の寄贈式典を開催いたしました。これは、昨年フィリピン中部を襲った台風30号「ヨランダ」の甚大な被害に対する支援策として、今回実施したものです。

この式典の中でペティリア・レイテ州知事は「新日鉄住金エンジニアリングという日本の民間の一企業がボランティアに寄付をしてくださる、その気持ちに感動し、また非常に丈夫で避難場所にもなり得る校舎を寄贈していただき大変感謝しています」と謝意を示され、それに対し当社高橋社長は、ペティリアレイテ州知事に銘版を贈りつつ「東日本大震災では、フィリピン始め各国の支援を得ましたが、台風ヨランダの甚大な災害の報に接し、今回は我々がお返しをする立場であると思い、それには将来を担う子供が、安心して授業を受けられる校舎を贈るのが良いと考えました」と挨拶されました。

今回は、PNS-ASTech 社がその設計～施工を担当し、日鉄住金鋼板は外壁材であるサンドイッチパネルを提供し、Palo National High School と Sta Fe Central School の2学校にそれぞれ1棟ずつ2校舎の寄贈を行ったものです。

現在フィリピンは校舎整備が人口増加に追いついておらず、加えて今回の台風による被災で、更なる整備が急務となっており、こうしたコンパクトで現場施工が容易、建設工期が短く、かつ災害にも耐えうる耐久性を持つ商品のニーズが高まっております。

PNS-ASTech 社は、こうした現地ニーズに対応した商品開発をさらに進め、フィリピンの学校整備を通じてフィリピンの将来を担う子供たちが安心して学べる環境作りに貢献していきたいと考えています。



【Palo National High School の完成写真】



【生徒の皆さんとの集合写真】



【寄贈式典】 左から中原 PNS 代表、青山常務、高橋社長、ペテイリアレイテ州知事、ペテイリアパロ町長、アウサ Palo National High School 校長

[お問い合わせ先]

経営企画部広報室 03-6665-2366

以上